

令和3年実施 町政懇談会の記録(北伊予校区)

(朱書きは、後日回答するとしたもの及び補足して回答するものです。)

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※印は、令和3年12月末までの対応状況です。)	担当課等
徳丸	11月20日	01 防災	防災行政無線	防災無線の増設・改良をお願いしたい。松前町の東端に住んでいるが、松前町の防災無線が聞こえない。徳丸地区でも聞こえにくいという声をよく聞く。聞こえる地区と聞こえない地区を調査し、聞こえない地区に関しては設備の増設や防災無線を改良する等の対応をしてほしい。	防災無線の整備については、図面の上では、設置場所から音声が届くように設計していますが、現地の音声状況を確認しなければならぬと思いますので、 担当課に現地を確認し、調査するよう指示します。 なお、防災無線の音声が届きにくい実情から、スマートフォンアプリで防災無線の内容を確認できるよう補完していますので、是非ご利用ください。 また、防災無線の放送内容が分からない場合は、放送内容が聞けるテレホンサービスもありますので活用してください。 ※11月21日に発言者に連絡し、防災無線の状況について聞き取りしました。徳丸地区内の防災無線の状況を取りまとめてもらい、その結果を踏まえ対応することとしました。(R3.11.21区長に説明済み)	危機管理課
徳丸	11月20日	02 道路・交通・建物	道路管理	道路補修について、各地区で要望しているも話が進んでいない場所がある。予算の都合もあると思うが、事業を決定してから、実際に対応してもらうまでどれくらい時間がかかるのか、見通しや方向性など示してほしい。	道路補修の要望については、現地を確認の上、優先順位の高い順に対応することとしており、舗装の傷みが著しい箇所を優先的に対応しています。 採択してもすぐに対応できないこともありますので、今後は、目標年など対応時期を要望の回答と一緒にお知らせしたいと思います。	まちづくり課
神崎	11月20日	12 健康・福祉	新型コロナウイルス感染症対策	12月頃にコロナウイルス感染拡大の第6波やインフルエンザの大流行が懸念されている。町としての感染対策について聞かせてほしい。	新型コロナウイルス感染症対策については、今までどおりワクチン接種を進めていくこととします。町民の皆様には、手洗いうがいを引き続きしていただくことをお願いします。 インフルエンザについては、昨年はコロナウイルスの影響もあり、10月1日から予防接種の受付を始め、例年よりも多くの方が予防接種を受けましたので、インフルエンザの流行は見られませんでした。 今年も、10月15日から予防接種の受付を始めていますので、町民の皆様は、予防接種を受けて備えてください。	子育て・健康課
神崎	11月20日	02 道路・交通・建物	公園の施設整備	これまでの町政懇談会でもお願いしたが、地区の公園や親水公園などに時計を設置してほしい。昨年、神崎集会所の南に設置する話もあったが、一向に進んでいない。進捗を聞きたい。	昨年の町政懇談会で提案された意見でありましたので、庁内では設置するよう指示をしています。 (中川原地区にある)ひよこたん池公園については、シガラの改修に多くの費用が掛かるので、改修後に設置することとしましたが、その他の親水公園では設置することを決定しましたので、令和4年度に設置します。	まちづくり課
神崎	11月20日	02 道路・交通・建物	通学路の交通安全対策	松前町内で、道路の外側線が消えているところがたくさん目に付く。私の住んでいるエリアでいうと、北伊予小・中学校周辺、校区の児童が通学路として利用する道路や通勤等で交通量の多い道路においては、再度調査を行い、外側線を整備して、視認性の高い、事故の起きない道路交通環境を整えてほしい。	学校施設周辺や通学路の危険な場所については、現況の調査を行い、優先的に対応したいと考えています。	まちづくり課

令和3年実施 町政懇談会の記録(北伊予校区)

(朱書きは、後日回答するとしたもの及び補足して回答するものです。)

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※印は、令和3年12月末までの対応状況です。)	担当課等
神崎	11月20日	06 学校	県立高等学校との連携	伊予高校は現在定員割れで、分校になる可能性がある。「教育の町」松前町にある伊予高を分校にはしたくない。町として何かできることはないのか。また、来年伊予高は40周年になるので話題になるようなことをしてほしい。 例えば、義農作兵衛のシンボルなどを伊予高の生徒が制作するなどしてはどうか。	伊予高校の志願者数は、近年の私学人気もあり、減少していると聞いています。本町の中学生も松山市の高校の志願者が増加し、今年度に入学した松前町の生徒は17人と少ない状況です。 こうした問題を解決するため、学校と町で協議の場を設け、伊予高校の魅力を高める方法や志願者を増やす方法について協議しているところです。町と伊予高校が連携して実施できる事業を検討しており、町も伊予高校の魅力を発信したいと考えています。 町民の皆様には、地元にある高校の価値を考えていただき、学校の存続を見守ってほしいと思います。 義農作兵衛のシンボルについては、レリーフを造って学校の壁面に埋めるという構想があり、芸術コースの生徒に制作に関わっていただくよう話を進めています。	総務課
鶴吉	11月20日	02 道路・交通・建物	通学路の交通安全対策	鶴吉地区の児童が通学路として利用している道路に、両端が崩れている箇所がある。児童が自転車とすれ違うときに危険を感じるので、道路の道幅を広げるなど整備をしてもらいたい。	懇談会終了後、地図で場所を確認の上、回答します。 ※御指摘の場所は通学路ではありません。また、農道利用において、支障がないことから町で整備することは考えていません。(R3.12.2区長に説明済み)	まちづくり課
鶴吉	11月20日	08 農業	人・農地プラン	農業者の担い手不足の問題で、現在「人・農地プラン」で誰かが担い手となり土地活用し耕作放棄地にしないように働き掛けている。耕作放棄地について土地を荒らさない、景観をよくするためにも産業課にはますます、力を入れて対応してもらいたい。	「人・農地プラン」は、地区の担い手の方々の意見や地区の統括の意見などを聞き、目標を立て、策定を進めているところです。御指摘の点は担当職員に伝え対応したいと思います。 なお、「人・農地プラン」は、地域主導により行うものです。耕作放棄地についても、プランの対象とするなど地域で対応していただき、町はその支援を行うものと考えます。 ※11月30日開催の「人・農地プランの実質化に係る説明会」において、耕作放棄地についても「人・農地プラン」で今後の担い手となる中心経営体を位置付けることは可能であること、その際には農業委員会での農地パトロールの結果を共有できることを説明しました。	産業課
鶴吉	11月20日	05 子育て	保育人材の確保	子どもを抱えている女性から保育士不足の話を聞く。義務教育だけでなく幼児教育も大切だと思うので、若い人たちが松前町で子育てをする上で様々なケアをしてもらえるよう、保育士の確保をお願いしたい。	子育て支援に関しては、松前町には妊娠から出産子育て期までサポートできる子育て世代包括支援センターがあり、お母様方に好評をいただいています。御意見のあった保育士不足については、募集してもなかなか応募してもらえない現状であり、引き続き確保に努めています。 そうした中で、現保育所職員85人に面接を行い、保育現場の現状などを聞き取りし、事務作業の負担を減らすなどの改善を行いました。今後も保育現場の改善を行い、働きたいと思ってもらえるような環境づくりができるように、引き続き努力をしていきたいと思っています。	福祉課
鶴吉	11月20日	13 その他	外国人との共生	最近外国人の実習生が多くなっている。その外国人実習生の管理監督は事業者に頼りきっている。行政としてのフォローなどを考えてほしい。 例えば、災害、コロナなど、どのように外国人実習生について伝えていくか、相談にのってくれる部署があればいいと思う。	コロナワクチンの接種については、外国人の実習生が希望する場合には受けてもらっています。 外国人居住者が増えていることは認識していますので、外国人居住者が円滑に行政サービスを受けることができるよう、各種事業を進めたいと思います。	産業課

令和3年実施 町政懇談会の記録(北伊予校区)

(朱書きは、後日回答するとしたもの及び補足して回答するものです。)

地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	回答等の要旨 (※印は、令和3年12月末までの対応状況です。)	担当課等
東古泉	11月20日	02 道路・交通・建物	空家対策	<p>国道56号の中央分離帯、耕作していない農地、空き地、空家などに雑草が繁茂しており、良好な景観を阻害している。犯罪と災害の危険性も高まると考えるので、行政と管理者が連携するなどして除草してほしい。</p>	<p>道路の除草については、町が管理する施設は町が、国道や県道等はそれぞれの道路管理者が行います。町が国道や県道の雑草の繁茂を確認した場合は、道路管理者に対応をお願いしていますが、除草の要望が多い時期などは、実施までに期間を要する場合があります。</p> <p>空家については、空家対策に関する法律があり、法に基づく対応ができるように準備を進めています。適用を受けない民間所有地については、所有者に協力をお願いするほかないと考えます。また、町と所有者が連携する取組として、除草に係る費用を助成することが考えられますが、土地所有者の管理の問題であり、困難であることを御理解ください。</p>	まちづくり課
東古泉	11月20日	13 その他	自治会を通じた募金等の徴収	<p>経済状況が厳しい中、緑の羽根、赤十字社などの寄附による金銭的負担を少なくしたい。一括して地域で集金するという形を見直してほしい。また、愛護班の活動や地域のスポーツ大会でも寄附を出さなければならない。開催するための不足金分は行政が負担するなどしてほしい。</p>	<p>御意見のあった募金等は、寄附を募る団体が任意で集めているものであり、大字(自治組織)に依頼して、徴収しているものと推察します。</p> <p>過去、町においても大字(自治会)を通じて交通災害共済掛金を徴収したことがありましたが、既にやめています。</p> <p>御指摘の募金等は町が募るものではありませんが、任意であるということを理解いただいた上、協力していただけるとありがたいと思います。</p>	町民課